

## 令和 7 年第 4 回野辺地町議会

### 定例会会議録

招集年月日 令和 7 年 9 月 4 日 (木)

招集場所 野辺地町議会会議場

開会 (開議) 令和 7 年 9 月 11 日 (木) 午前 9 時 30 分

#### 出席議員 (12名)

1番	横浜睦成	2番	高沢陽子
3番	木戸忠勝	4番	村中玲子
5番	五十嵐勝弘	6番	戸澤栄
7番	古林輝信	8番	中谷謙一
9番	野坂充	10番	大湊敏行
11番	赤垣義憲	12番	岡山義廣

#### 欠席議員 (なし)

#### 地方自治法第 121 条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町長	野村秀雄
副町長	江刺家和夫
教育長	小野淳美
会計管理者	長根一彦
総務課長	高山幸人
企画財政課長	西館峰夫
防災管財課長	木明裕二
産業振興課長	上野義孝
町民課長	富吉卓弥
介護・福祉課長	飯田貴子

健 康 づ く り 課 長	木 明 修
建 設 水 道 課 長	五 十 嵐 洋 介
建 設 水 道 課 調 整 監	古 林 輝 樹
学 校 教 育 課 長 兼学校給食共同調理場所長	飯 田 満
学校教育課指導室長	濱 田 健 太 郎
社会教育・スポーツ課長	玉 山 順 一
中央公民館長兼図書館長 兼歴史民俗資料館長	二 木 智 徳
代 表 監 査 委 員	駒 井 広
総 務 課 長 補 佐	七 島 良 嘉
総 務 課 主 幹	四 戸 俊 彰

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議 会 事 務 局 長	田 中 利 実
議 会 事 務 局 主 幹	濱 中 太 一

議事日程（第4号）

- 日程第1 議案第40号 令和6年度野辺地町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 日程第2 議案第41号 令和6年度野辺地町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 日程第3 議案第42号 令和6年度野辺地町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 日程第4 議案第43号 令和6年度野辺地町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 日程第5 議案第44号 令和6年度野辺地町水道事業特別会計決算の認定を求めるの件

町長の提出議案 なし

議会の提出議案 なし

会議に付した議案

- 議案第40号 令和6年度野辺地町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第41号 令和6年度野辺地町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第42号 令和6年度野辺地町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第43号 令和6年度野辺地町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第44号 令和6年度野辺地町水道事業特別会計決算の認定を求めるの件



---

◎開議の宣告

○議長（岡山義廣君） 本日の会議を開きます。

（午前 9時30分）

---

◎議案第40号 令和6年度野辺地町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算  
の認定を求めるの件

○議長（岡山義廣君） 日程第1、議案第40号 令和6年度野辺地町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件を議題とします。

町民課長から歳入歳出決算について説明を求めます。

町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） おはようございます。それでは、議案第40号 令和6年度野辺地町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件について、お手元の別冊決算書でご説明申し上げます。すみません、喉の調子が悪いので、申し訳ありません。

207ページ下段をお願いいたします。歳入、収入済額の合計は14億3,747万5,583円となりました。211ページ下段をお願いいたします。歳出、支出済額の合計は13億4,653万2,682円となり、歳入歳出差引額9,094万2,901円は令和7年度へ繰越しとなります。以上の決算額を前年度と比較すると、歳入では3.8%、歳出では3.0%それぞれ減少しております。

それでは、歳入の主なるものについてご説明申し上げます。218ページから221ページにかけて、1款国民健康保険税の収入済額は2億5,200万2,239円となり、前年度と比較して1,092万9,660円、率にして4.2%の減となりました。主には、国保加入者の減少に伴う収入調定額の減少によるものと思われます。また、収納率につきましては、現年度分は93.7%で、前年度を1.8ポイント下回りました。また、滞納繰越分を合わせた全体の収納率では85.7%で、前年度を1.2ポイント下回っております。

222、223ページをお願いいたします。4款県支出金は9億1,208万3,884円となりました。これは、県が財政の運営主体であることから、保険給付に必要な費用を町に対して支払う額となります。前年度と比較し6,631万6,332円、率にして6.8%の減となります。

続いて、下段の6款繰入金は1億6,078万7,574円となり、前年度と比較して533万3,159円の減となりました。1目1節の保険基盤安定繰入金314万4,000円余りの減少が主なものとなります。

224、225ページをお願いいたします。7款繰越金は令和5年度からの繰越額が1億620万3,711円となり、前年度と比較して2,227万8,484円、率にして26.5%増となりました。

次に、歳出の主なるものについてご説明申し上げます。234ページから237ページをお願いいたし

ます。1款総務費の支出済額は3,369万3,915円となり、前年度と比較して191万4,926円、率にして6.0%の増となりました。236ページの1項1目一般管理費の委託料で、マイナ保険証に係るシステム改修費の増が主なものとなります。

232ページから235ページにかけまして、2款保険給付費は8億7,154万9,135円となり、前年度と比較して6,919万4,128円、率にして7.4%減となりました。これは、1項1目療養給付費が531万円、2項1目高額療養費の1,481万円余りの減額が主なものであります。

234ページから237ページにかけまして、3款国民健康保険事業費納付金は3億6,086万684円となり、前年度と比較して876万9,413円、率にして2.5%の増となりました。

236ページから239ページにかけまして、5款保健事業費は1,270万6,255円なり、前年度と比較して28万3,366円、率にして2.3%の増となりました。

240、241ページをお願いいたします。6款基金積立金は5,310万2,000円となり、前年度と比較して1,113万9,000円、率にして26.5%の増となりました。これは、前年度の繰越金の一部を財政調整基金へ積立てたものであります。

243ページにかけまして8款諸支出金は1,462万693円となり、前年度と比較して509万5,996円、率にして53.5%の増となりました。

以上が議案第40号 令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の概要であります。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○議長（岡山義廣君） 歳入歳出決算について、一括で質疑を行います。質疑のある方は、ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 234、235ページです。出産育児諸費、出産育児一時金、これが予算よりも5割程度増えているのですけれども、これ人数というのはどれくらいでしたか。

○議長（岡山義廣君） 町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） 対象者は、6名ほどになっております。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第40号を採決します。

お諮りします。本件は認定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第40号については認定することに決定しました。

---

◎議案第41号 令和6年度野辺地町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

○議長（岡山義廣君） 日程第2、議案第41号 令和6年度野辺地町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件を議題といたします。

議案第41号は、会議規則第36条第2項の規定によって、説明を省略したいと思います。

ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） ご異議なしと認めます。

議案第41号は説明を省略することに決定しました。

それでは、歳入歳出決算について一括で質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第41号を採決します。

お諮りします。本件は認定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第41号については認定することに決定しました。

---

◎議案第42号 令和6年度野辺地町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

○議長（岡山義廣君） 日程第3、議案第42号 令和6年度野辺地町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件を議題とします。

介護・福祉課長から歳入歳出決算について説明を求めます。

介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 議案第42号 令和6年度野辺地町介護保険事業特別会計歳入歳

出決算書についてご説明申し上げます。

274、275ページをお願いいたします。歳入決算額は17億7,270万8,872円になりました。276ページから279ページをお願いいたします。歳出決算額は16億9,537万8,128円となり、歳入歳出差引残額として7,733万744円の剩余金が生じました。決算額を前年度と比較しますと、歳入においては1.3%の減、歳出においては2.8%の減となりました。

286ページをお願いします。それでは、歳入の主なるものをご説明いたします。1款保険料では3億2,491万2,480円となり、前年度と比較して329万340円の増となりました。これは、保険料の現年度分の収納額の増によるものであります。令和6年度分の介護保険料の収納率は99.26%となり、前年度に比較して0.05%下降したものの、2年目となるコンビニのバーコード決済による収納数は増加しております。

3款国庫支出金では4億2,880万1,262円となり、前年度と比較して382万1,887円の増となりました。

288ページをお願いします。下段の4款支払基金交付金では4億3,041万3,000円となり、前年度と比較して649万円の増となりました。主に1目介護給付費交付金の増によるものであります。

290ページをお願いします。5款県支出金では2億5,209万4,160円となり、前年度と比較して814万6,032円の増となりました。これは、主に3目介護保険事業費補助金の増によるものであり、厚生労働省のモデル事業であるケアプランデータ連携システム導入支援事業費の10分の10の補助金によるものであります。

292ページをお願いします。下段の8款繰越金は5,264万1,774円となりました。これは、前年度の繰越金となります。

次に、歳出の主なるものについてご説明申し上げます。300ページをお願いします。1款総務費、3項介護認定費では1,790万3,060円となりました。介護認定の件数は、前年度より107件減の593件でした。

302ページをお願いします。2款保険給付費では15億1,300万2,463円となり、前年度と比較して給付費全体では1,805万1,206円の減となりました。これは、介護認定件数の減少に伴い介護サービスの提供件数も減少していることが挙げられます。

続きまして、304ページの下段であります。2項介護予防サービス等諸費は3,808万4,422円となり、昨年度と比較して500万円余りの増となっております。介護予防の給付でも、特に訪問看護と訪問リハビリテーション、ベッドなどの福祉用具のレンタルの利用が多くなっていることに加え、入浴用の椅子などの購入の増も影響しております。

310ページをお願いします。4款地域支援事業費ですが、全体では7,900万2,796円となり、前年度と比較して307万494円の増となりました。これは、歳入でも申し上げましたケアプランデータ連携

システム導入支援事業費の経費が影響しており、目標とした成果が得られたところであります、保険者として引き続き介護保険事業所の負担軽減のための取組を進めてまいります。

314ページ中段をお願いします。5款諸支出金では5,231万7,849円となり、前年度と比較して3,155万5,276円の減となりました。これは、大きくは1項基金費、1目介護給付費準備基金費へ2,609万2,000円の積立てや、316ページの3項繰出金、1項一般会計繰出金145万3,269円が主なるものです。

6款予備費では、1款1項1目11節役務費へ1万円のほか、全4件を充当いたしました。

以上、主なるものについてご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○議長（岡山義廣君） 岁入歳出決算について一括で質疑を行います。質疑ありませんか。

9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 311ページなのですけれども、地域支援事業費、今7,900万2,000円というふうな説明だったと思うのですけれども、7,908万円の間違いではないでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 失礼いたしました。7,908万円のところ、言い間違いしました。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第42号を採決します。

お諮りします。本件は認定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第42号については認定することに決定しました。

---

#### ◎議案第43号 令和6年度野辺地町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

を求めるの件

○議長（岡山義廣君） 日程第4、議案第43号 令和6年度野辺地町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件を議題といたします。

建設水道課長から歳入歳出決算について説明を求めます。

建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） それでは、議案第43号 令和6年度野辺地町下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

決算書の事項別明細書332、333ページをお願いします。歳入につきましては、1款1項1目一般会計繰入金は3,003万2,299円、歳入合計で3,003万2,299円となりました。

次に、338、339ページをお願いいたします。歳出につきましては、1款1項1目一般管理費は4,900円、2款1項公債費は元金、利子合わせまして3,002万7,399円となり、歳出合計では3,003万2,299円となりました。

324、325ページにお戻り願います。歳入歳出の差引きについては、表下段の記載のとおりゼロ円となりました。

以上、主なるものについてご説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○議長（岡山義廣君） 歳入歳出決算について一括で質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第43号を採決します。

お諮りします。本件は認定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第43号については認定することに決定しました。

---

◎議案第44号 令和6年度野辺地町水道事業特別会計決算の認定を求めるの件

○議長（岡山義廣君） 日程第5、議案第44号 令和6年度野辺地町水道事業特別会計決算の認定を求めるの件を議題といたします。

建設水道課長から決算の概要について説明を求めます。

建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） それでは、議案第44号 令和6年度野辺地町水道事業特別会計決算についてご説明いたします。

決算書508、509ページをお願いいたします。令和6年度野辺地町水道事業決算報告書ですが、予算と対比した表となっており、消費税を含んでおります。

（1）、収益的収入及び支出の収入決算額は2億5,806万9,518円で、前年度対比3.8%の減となり

ました。内訳として、第1項営業収益は2億1,462万5,525円で、対前年度比4.5%の減となりました。第2項営業外収益は4,344万3,993円で、対前年度比0.4%の減となりました。

次に、支出決算額は2億4,750万32円で、対前年度比0.02%の増となりました。内訳として、第1項営業費用は2億2,927万4,706円で、対前年度比1.7%の増となりました。第2項営業外費用は1,822万5,326円で、対前年度比17.3%の減となりました。第3項特別損失の支出はありませんでした。

510、511ページをお願いいたします。（2）、資本的収入及び支出の収入の決算額、第1款資本的収入は7,270万4,968円で、対前年度比44.0%の増となりました。内訳として、第1項企業債は7,230万円で、対前年度比153.7%の増となり、第3項補助金は40万4,968円で、対前年度比は皆増となりました。

次に、支出の決算額は1億8,347万5,375円で、対前年度比5.0%の減となりました。内訳として、第1項の建設改良費は9,651万1,030円で、対前年度比3.8%の減となりました。第2項の企業債償還金は8,696万4,345円で、対前年度比6.4%の減となりました。

以上が資本的収支となります。資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額については、下の欄外に記載している財源により補填いたしました。

515ページをお願いいたします。損益計算書です。令和6年4月1日からの1年間の収支について、消費税を除いた金額で記載しております。1の営業収益は、（1）から（3）の合計で1億9,513万9,650円、対前年度比4.5%の減、2の営業費用は、（1）から（7）合計で2億2,219万809円、対前年度比2.0%の増により、差し引いた営業損失は2,705万1,159円のマイナスとなりました。次に、3の営業外収益は、（1）から（5）の合計で4,342万7,162円、対前年度比0.4%の減、4の営業外費用は、（1）と（2）の合計で1,644万7,354円、対前年度比9.3%の減により、差し引いた経常利益はマイナス7万1,351円となりました。5の特別損失はありませんでした。当年度純利益はマイナス7万1,351円となり、これに前年度繰越利益剰余金3億3,518万5,066円を加え、当年度未処分利益剰余金は3億3,511万3,715円となりました。当年度純利益のマイナス7万1,351円の要因は、人口減による営業収益の減少と営業費用の増加によるものです。

516ページをお願いいたします。令和7年3月31日の貸借対照表となります。資産の部は、1の固定資産は合計で18億5,945万6,817円、2の流動資産は（1）と（2）の合計で2億6,108万1,063円となり、資産合計は21億2,053万7,880円となりました。

517ページの負債の部は、3の固定負債は令和8年度以降の企業債償還金で7億2,169万1,334円、4の流動負債は令和7年度の企業債償還金及び令和6年度分の未払消費税等で1億1,322万7,612円、5の繰延収益は2億8,793万8,583円となり、負債合計は11億2,285万7,529円となりました。

次に、資本の部ですが、6の資本金は4億9,831万220円、7の剰余金は（1）と（2）を合計して4億9,937万131円で、資本合計は9億9,768万351円となり、負債資本合計は21億2,053万7,880円となり、前のページの資産の部、資産合計と同額となります。

518、519ページをお願いいたします。剰余金計算書です。資本剰余金合計は2,375万400円となり、利益剰余金は減債積立金1,369万5,165円、利益積立金2,000万円、建設改良積立金1億681万851円で、当年度未処分利益剰余金は3億3,511万3,715円で、515ページの金額と同額となります。このうち、519ページ下段にあります剰余金処分計算書の中ほどに記載しております水道事業の剰余金の処分等に関する条例第2条により、当年度純利益はマイナス7万1,351円となりましたので、積立金はゼロといきました。

521ページ以降については、決算附属書類として具体的な内容を記載しておりますので、参考にしていただきたいと思います。

以上、主なるものについてご説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○議長（岡山義廣君） 収益的支出及び資本的収支一括で質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第44号を採決します。

お諮りします。本件は認定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第44号については認定することに決定しました。

---

#### ◎散会の宣告

○議長（岡山義廣君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日は、これで散会します。お疲れさまでした。

（午前10時03分）